中卒労働者から始める高校生活
ワーカー
14
佐々木ミノル
GH COMICS

中卒労働者(ワーカー)から始める高校生活 14

佐々木ミノル
Minoru Sasaki Presents

Contents

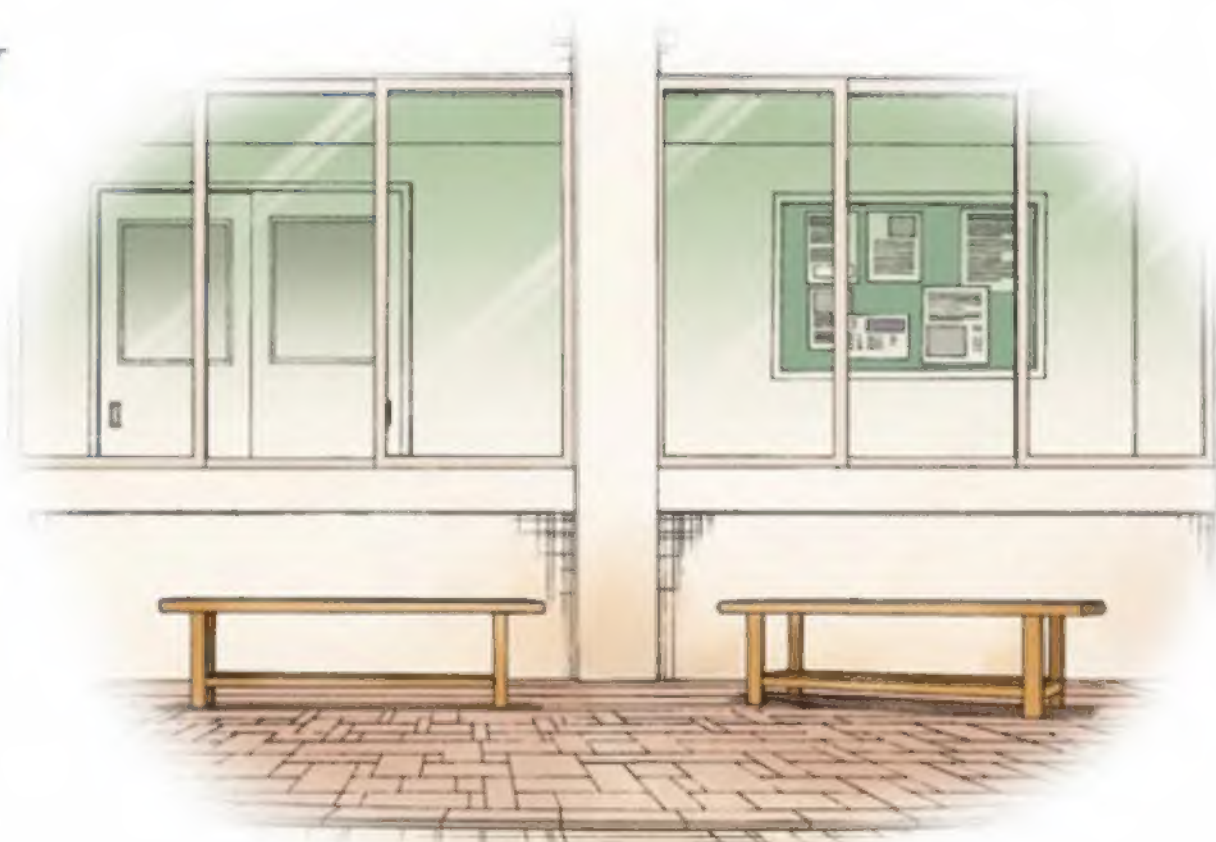
45時限目 別れ……3

46時限目 告白……41

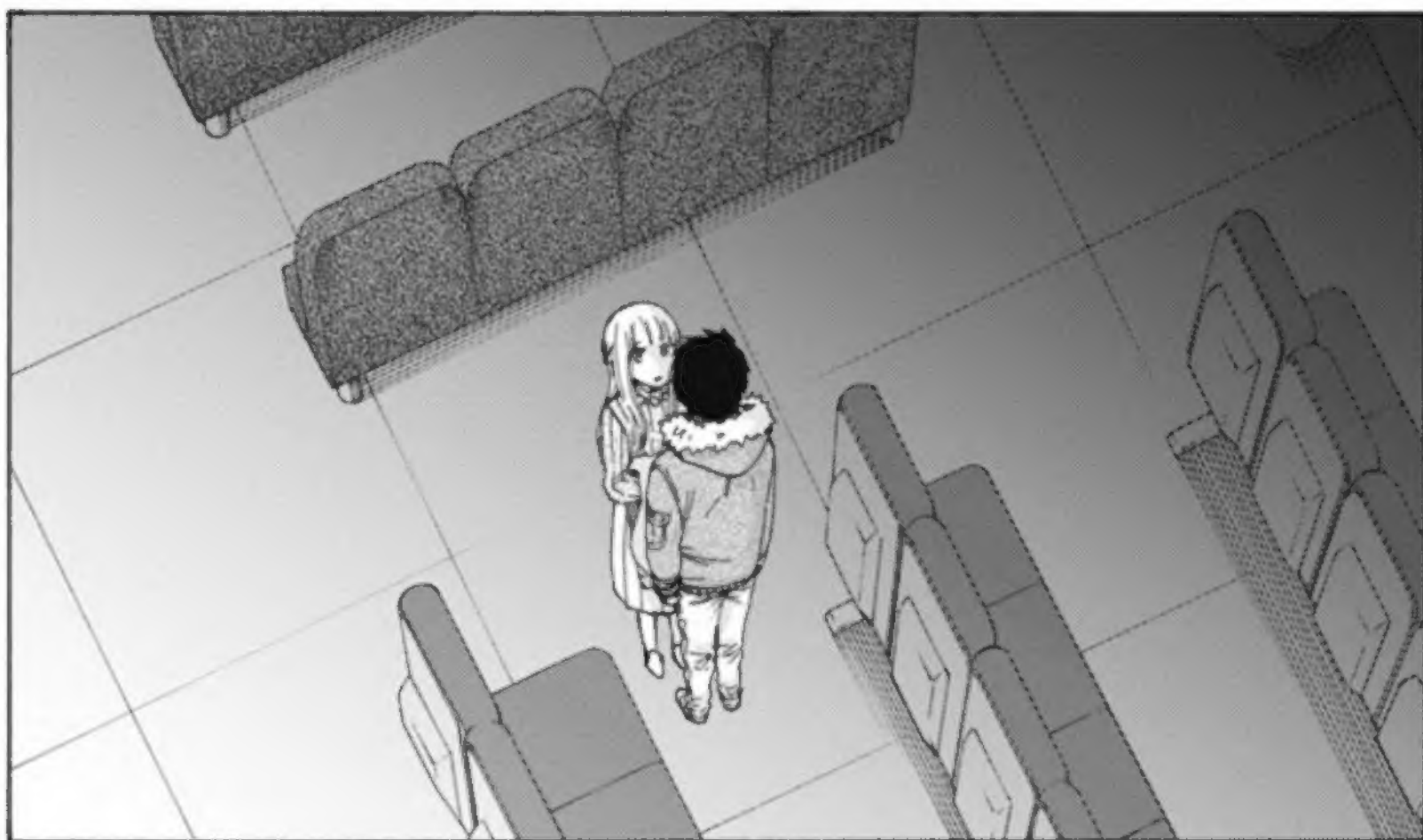
47時限目 友達のような……79

48時限目 他人……116

Story

二年生に進級し、
より強まる、
真実と莉央の絆。
妹と父の再会の場で
起きてしまった"最悪"。
真実が選ぶ未来とは——。

■「コミックヘヴン」
2020年2月～8月掲載分収録

……

どうしたの…

お父さんに
何か言われた?

別れよう
45時限目 別れ

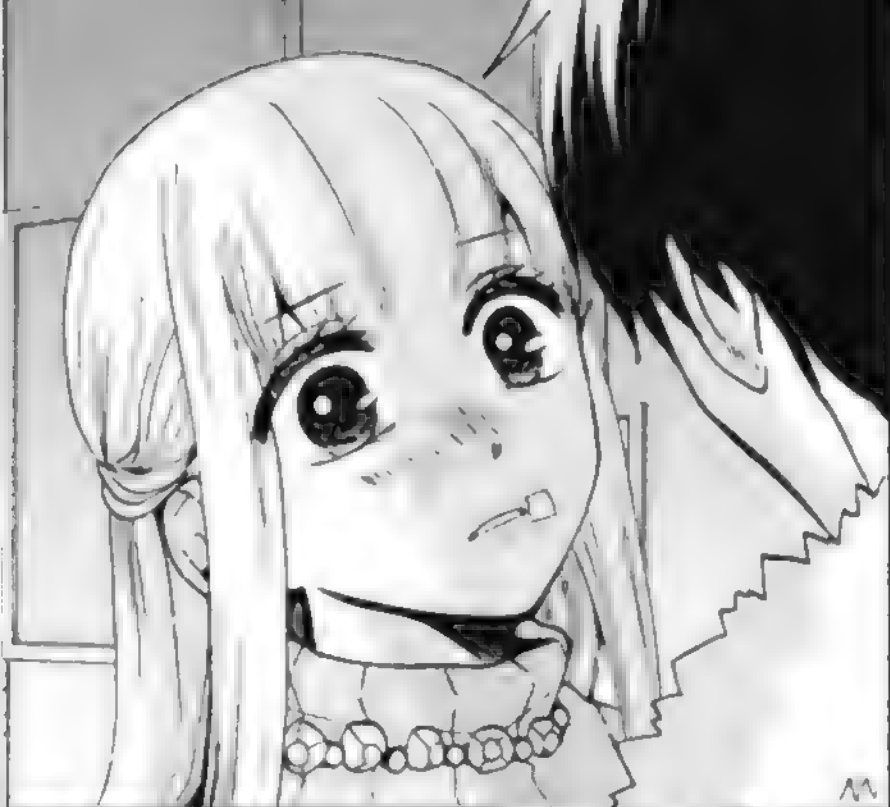
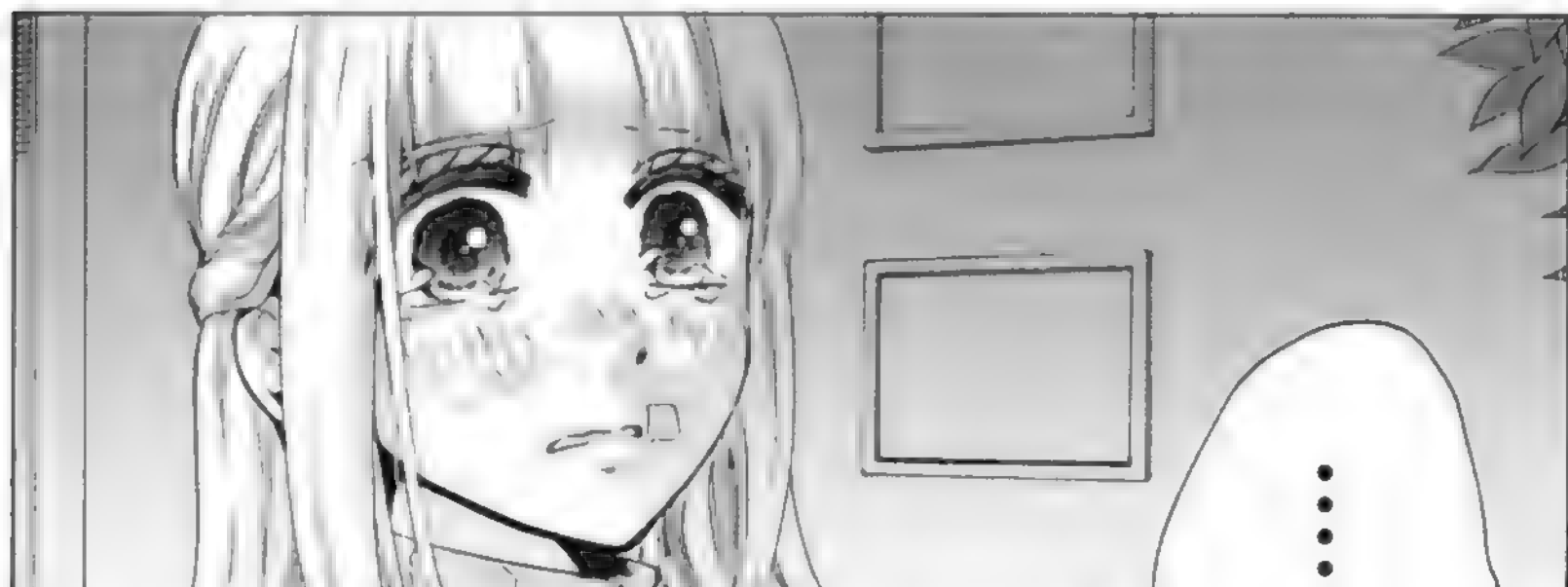
……
何て言われたの
ねえ…

こんな怪我
しなくても
よかったんだよ
付き合ってるのが
俺じゃなければ

別れろって
言われた？
うちの
お父さんに

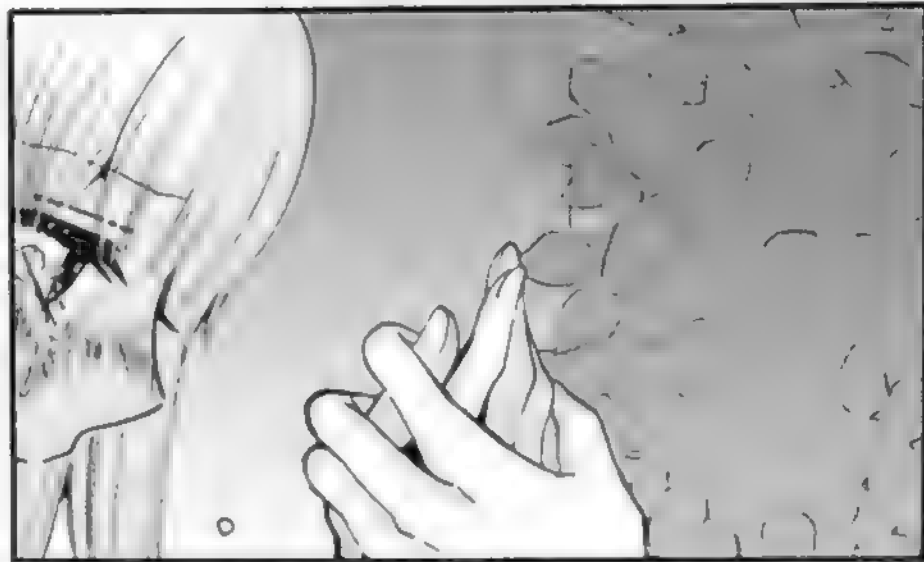
そうでしょ？
だから
そんな

やめて…

……好き
大好き

ふだんからいっぱい言ってれば
伝わった…？
好き
好き…
……

好きなのに
だめ…？

離れないでって
言ったのに？
「わかった」って
あの時
言ってくれた
のに…？

…傷に障るから
そんな泣くなよ
……
無理…

無理だよ…！
無理
私 無理無理！

幸せに

生きて
いけない!!

俺もだよ

好きなのに…

口に出さずに
済んで
よかったんだ

片桐くんは？

うう〜〜〜……

うえええ…
えっ
えっ

うえええ……

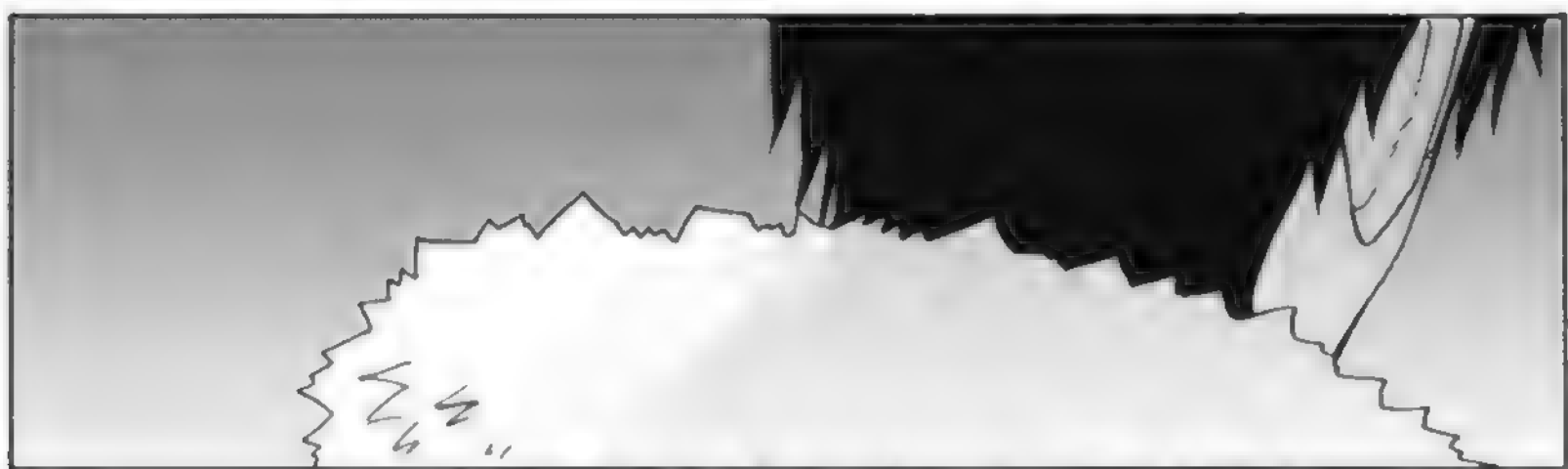
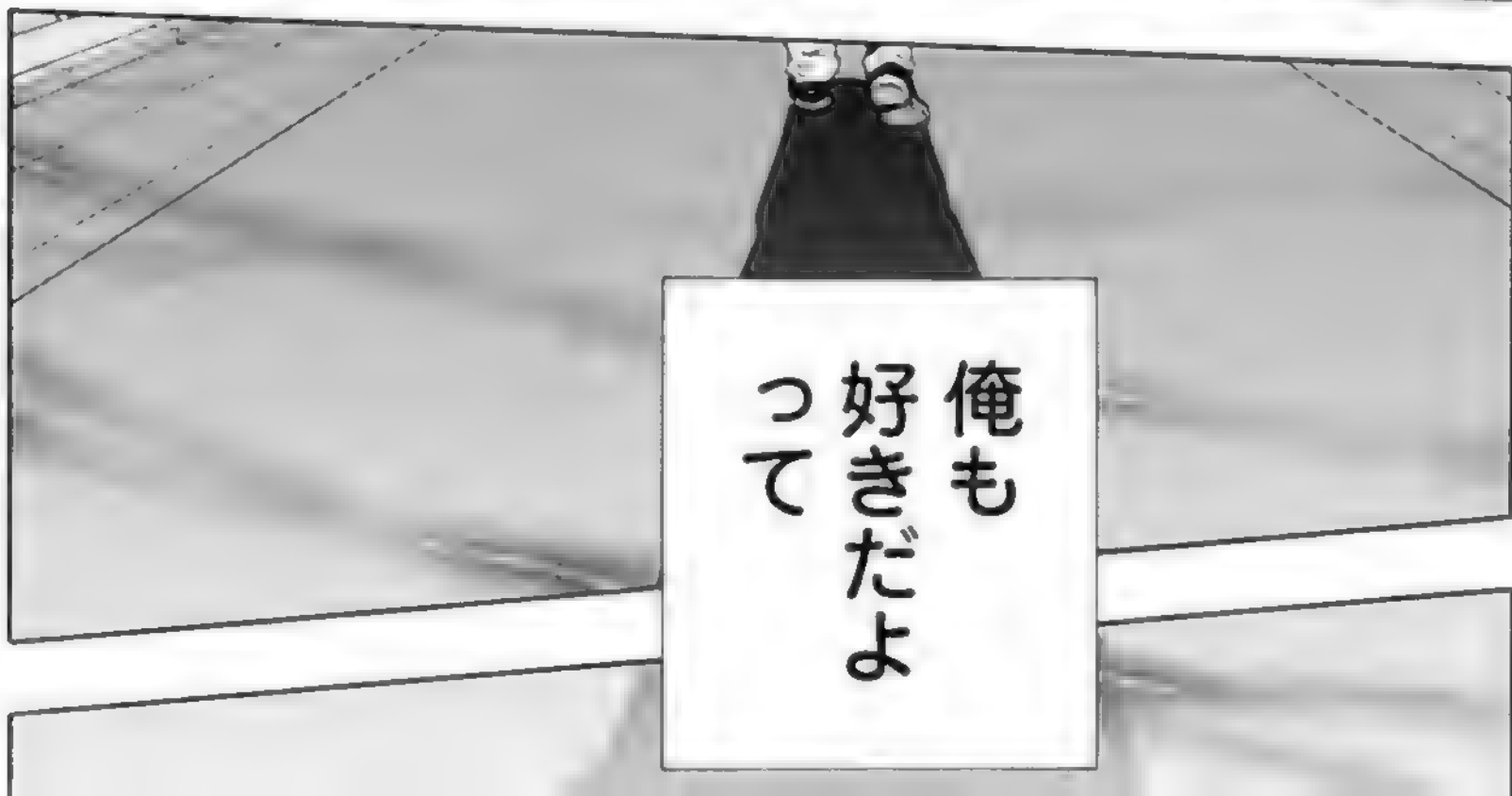
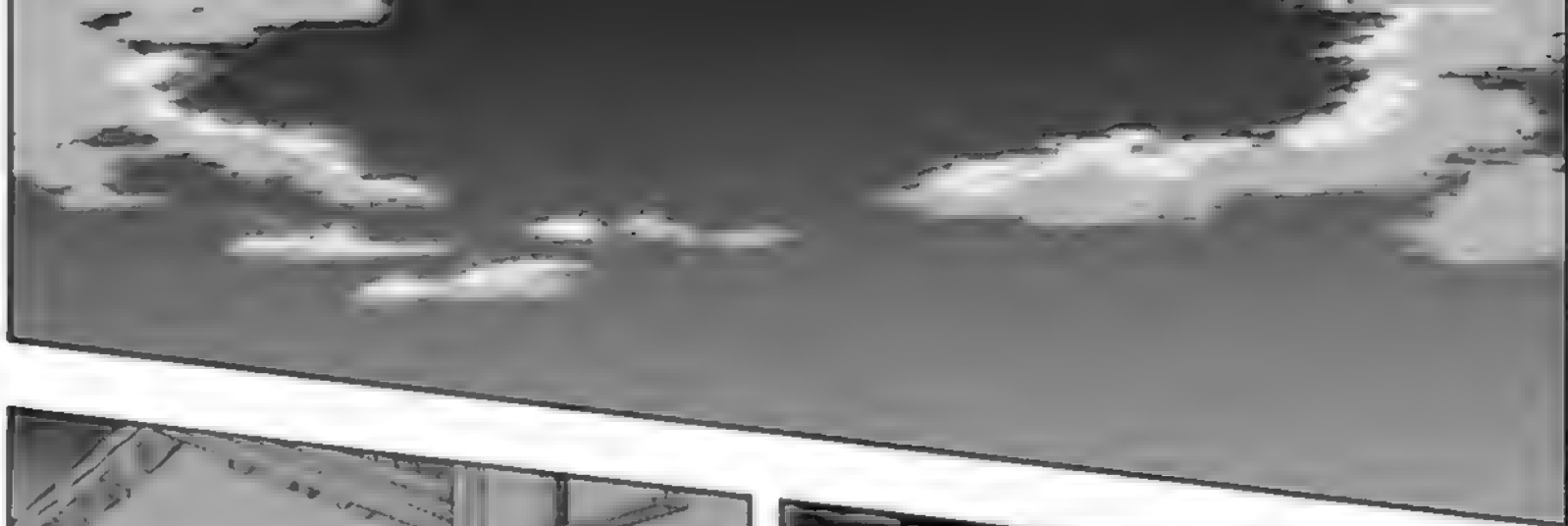
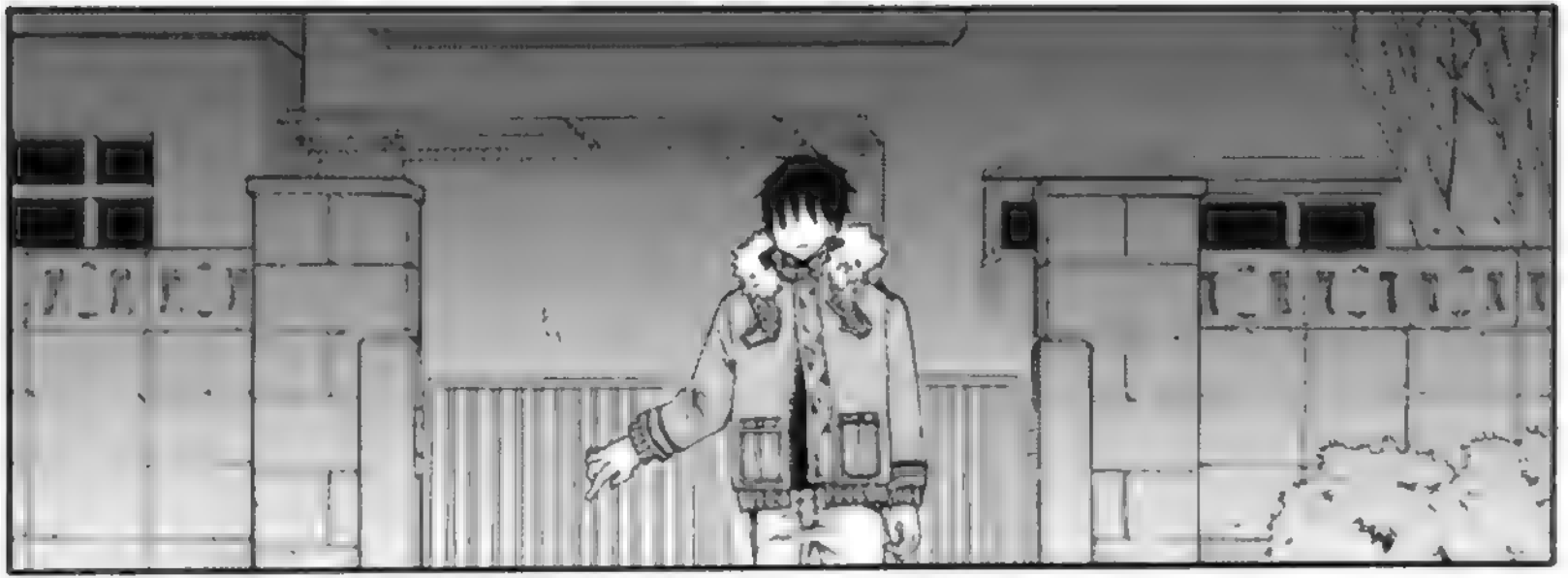
ええ〜〜〜〜〜〜

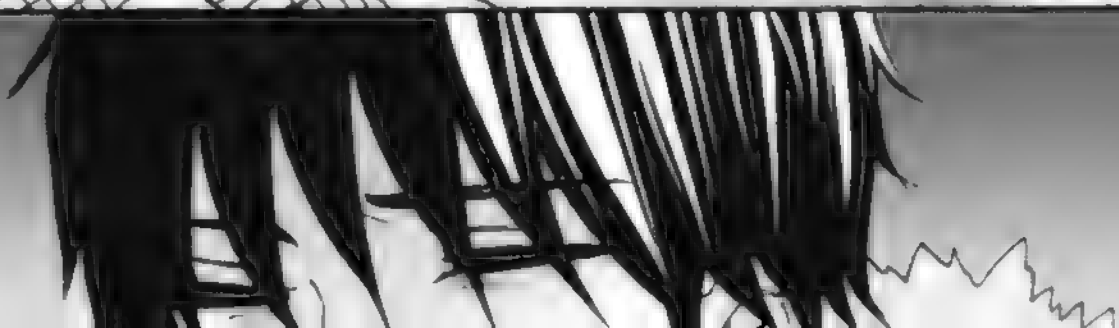
…り

莉央ぢゃん
は

うん
骨は折れてないって
とりあえずよかった
ひっく
ぐす
ぐす、
ひっく…
ひっ…
ぐず…
ずっ…

別れることに
なった

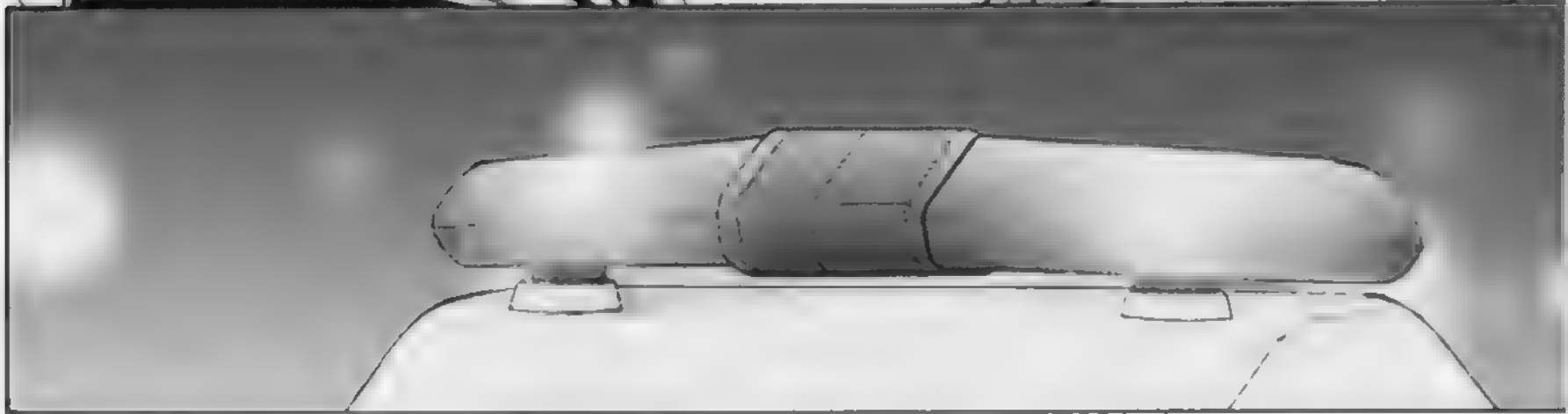
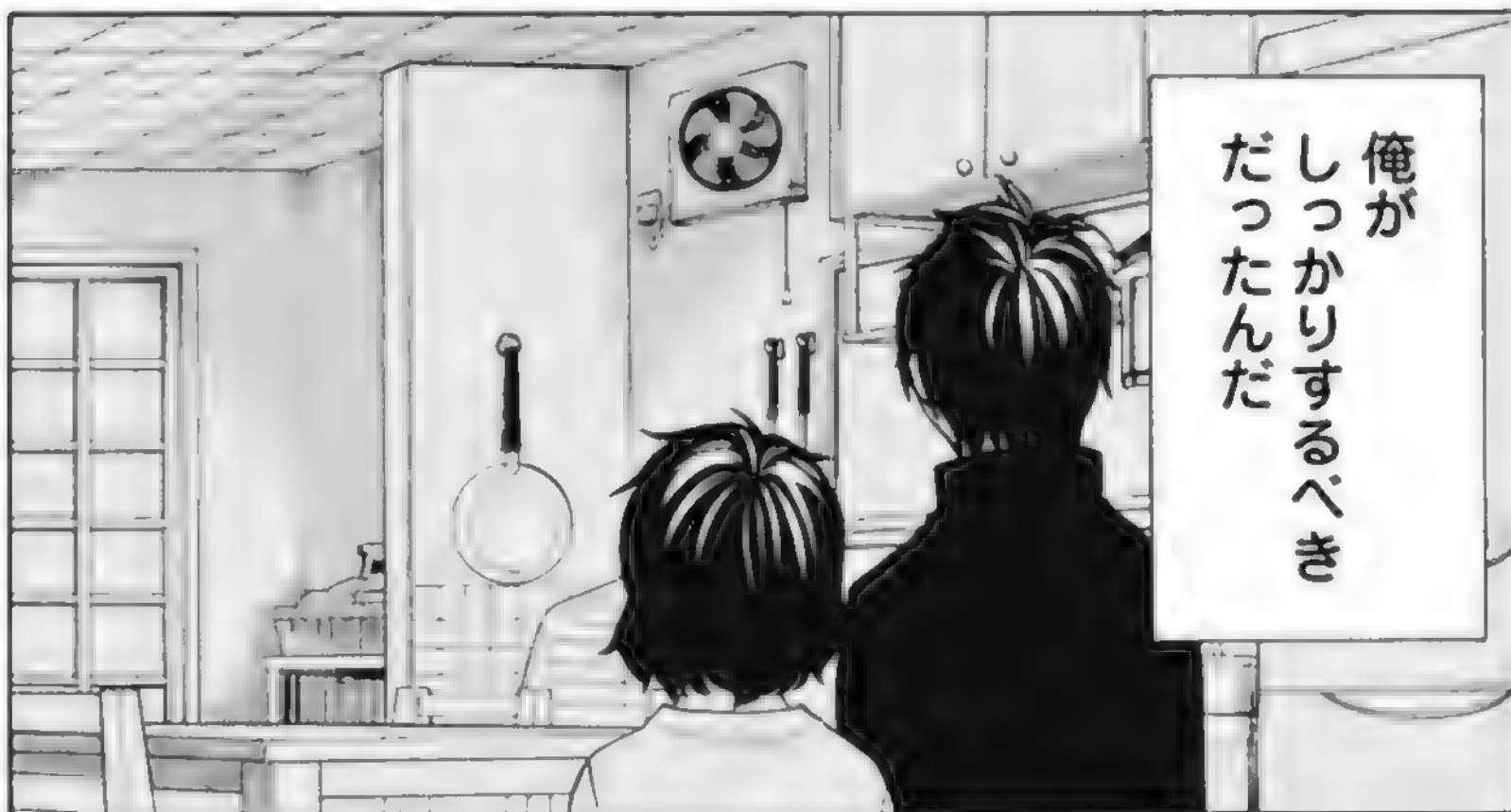
ご
ごめんなさい～～～～……

真彩のせいだ――…
わ
あ
あ
あ
あ
おとーさんは
あれしかできない…
失敗する人なのに

真彩が
会わせちゃった
…！
真彩が
つれて来た
……
おにーちゃんの
いうとおりに
すればよかった
よう…
会わなきゃ
よかったよう

うっ
えっ
莉央ちゃんが いなく なっちゃう
会ったら なにか
変わるかも って 思っただのに
おにーちゃんが
もっと もっと もっと

おどーさんのこと
うらんじゃう…!!
うらん
だら
つらい
のに
うっ
うぐ
ぐすっ

……
あぁ…
そういう風に
思わせて…
違うよ
お前のせいじゃない

兄ちゃんが
悪かった
今まで
悪かった
…

俺が二度と
泣くな

あの時だって
出来ただろう

泣かせたく
ないなら
俺が二度と
泣くな
✿別れ／完

中卒労働者(ワーカー)から始める高校生活

46時限目
告白

莉央

少しは食べないと…

……
プシッ

冷てぇ〜〜〜〜…

寒みーのに

あったか〜いの買うだろふつー…

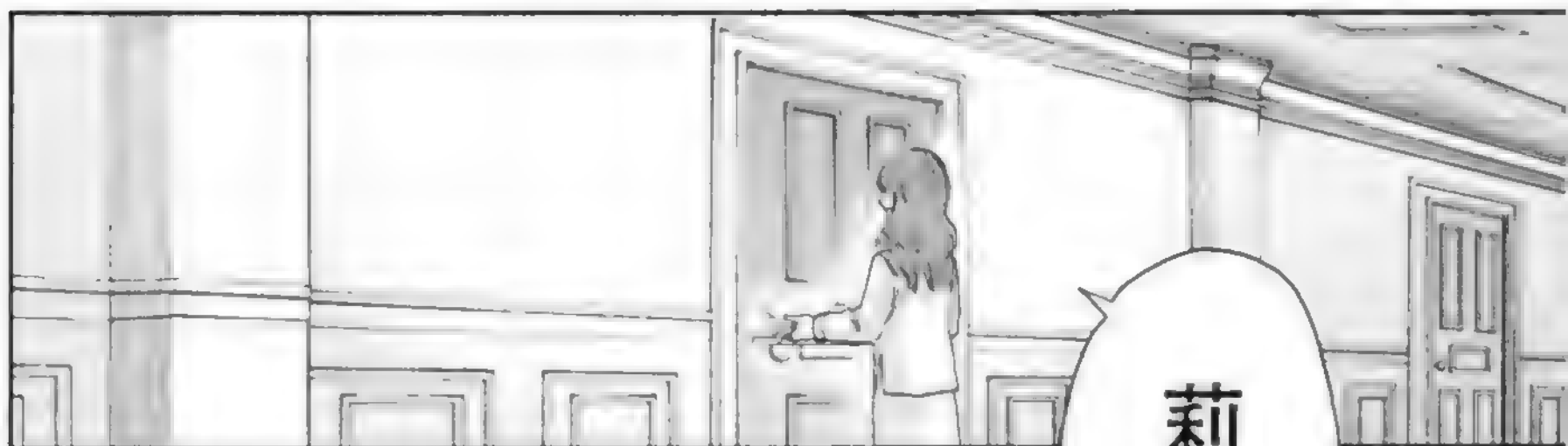
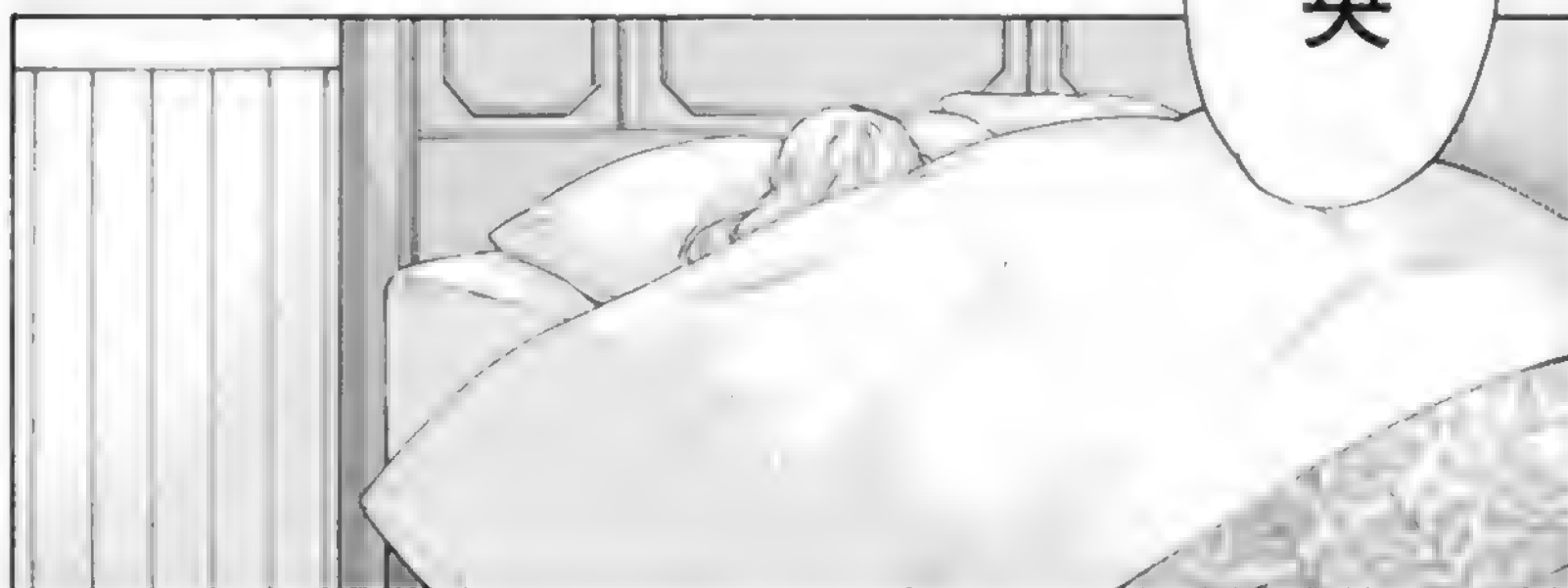
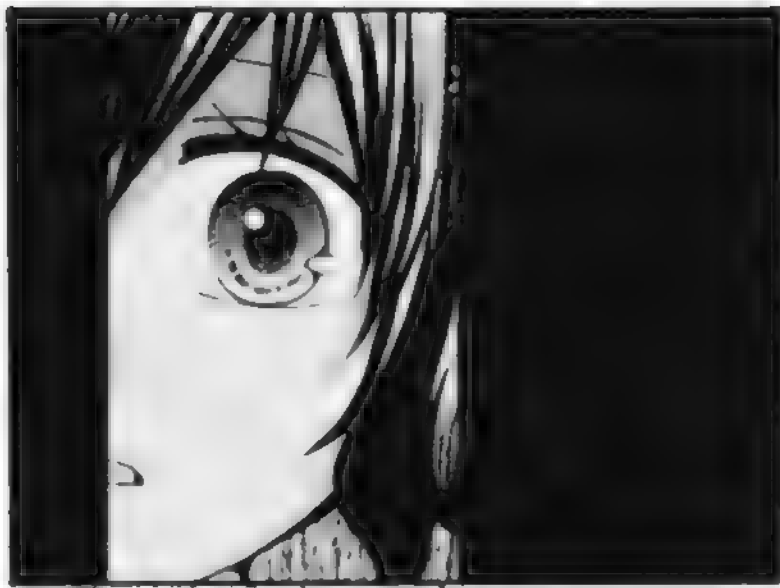
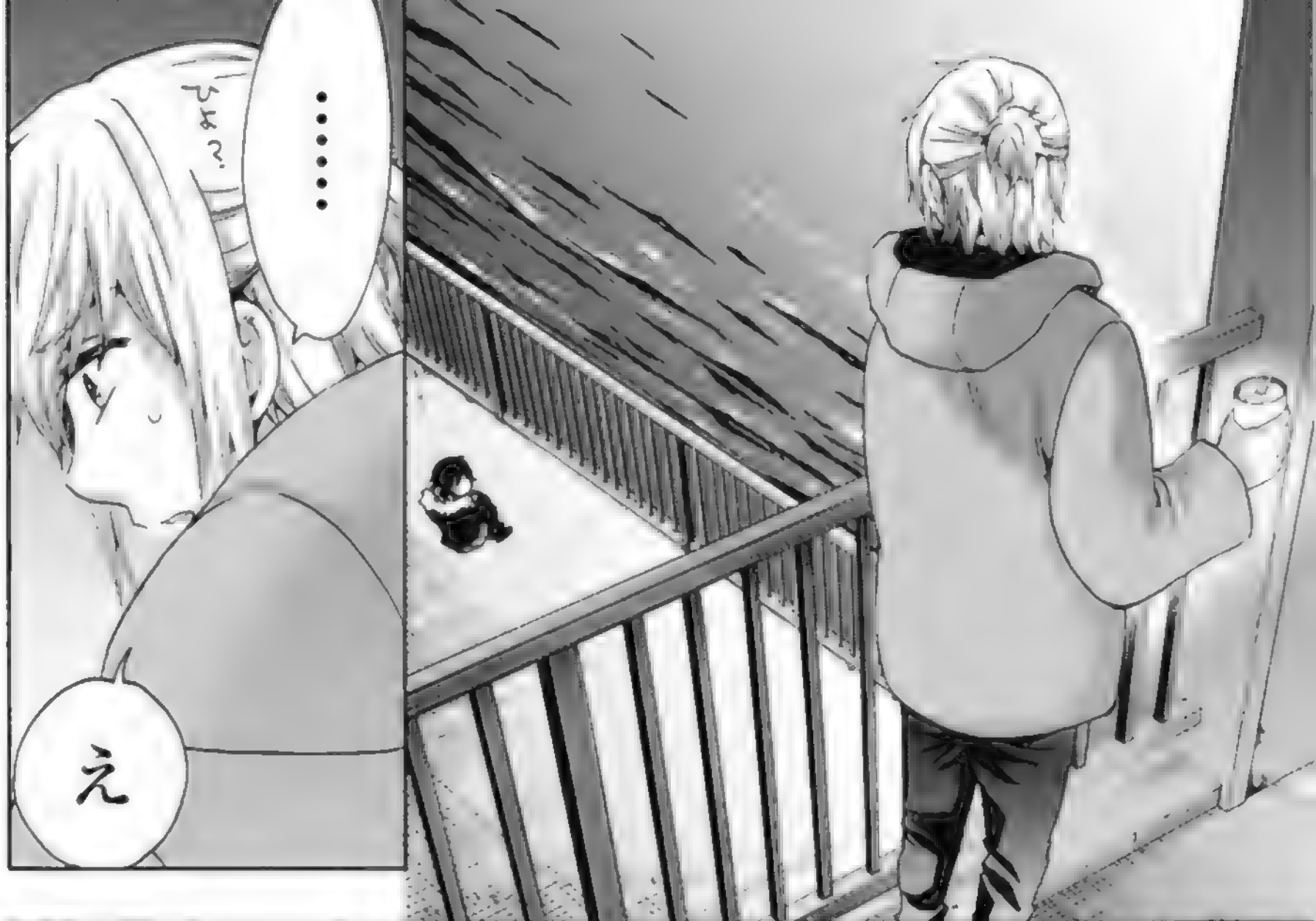
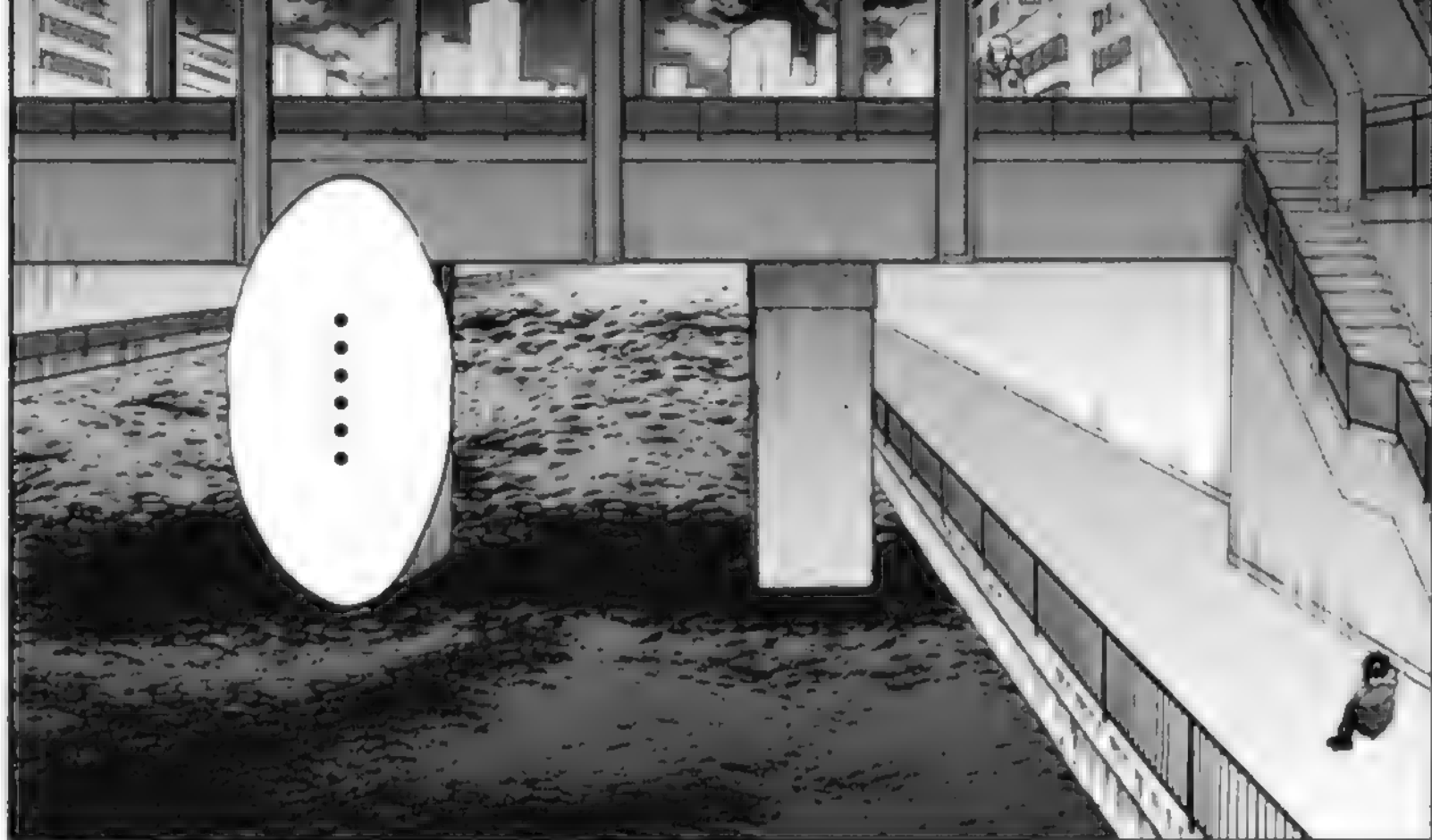
……

気にしてっかな
アレ

遊びに行けたり・・・・・・
・・・・・・
・・・・・・・・・
あーーー・・・・
あ゛ーーーッ
クソが!!!
ひよっ

……
ひよ？
え
なんで

……

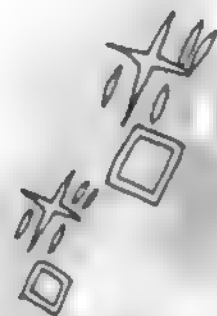
…何
どうしたの

バイト帰り…？

こんなとこで
なにを

だって
家に帰ったらもう

泣けないから

〜〜〜〜……

ボロボロ

こないで

…五十嵐の言う通りだった…

わかってもらえるのが当たり前じゃなかった…

引かれるのがフツーだった…!!

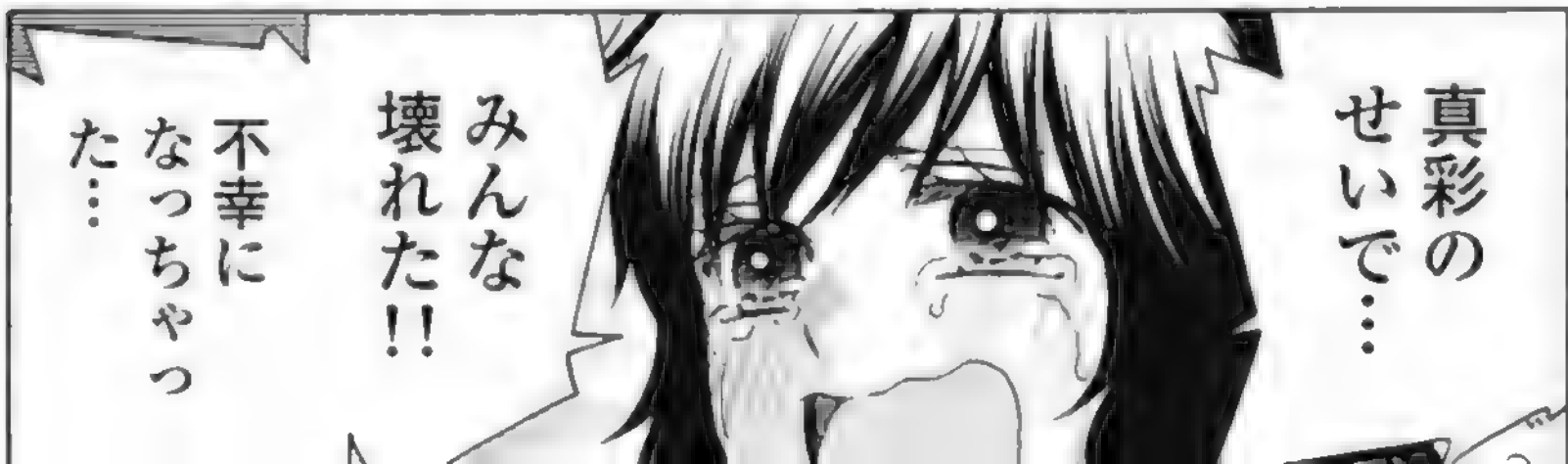
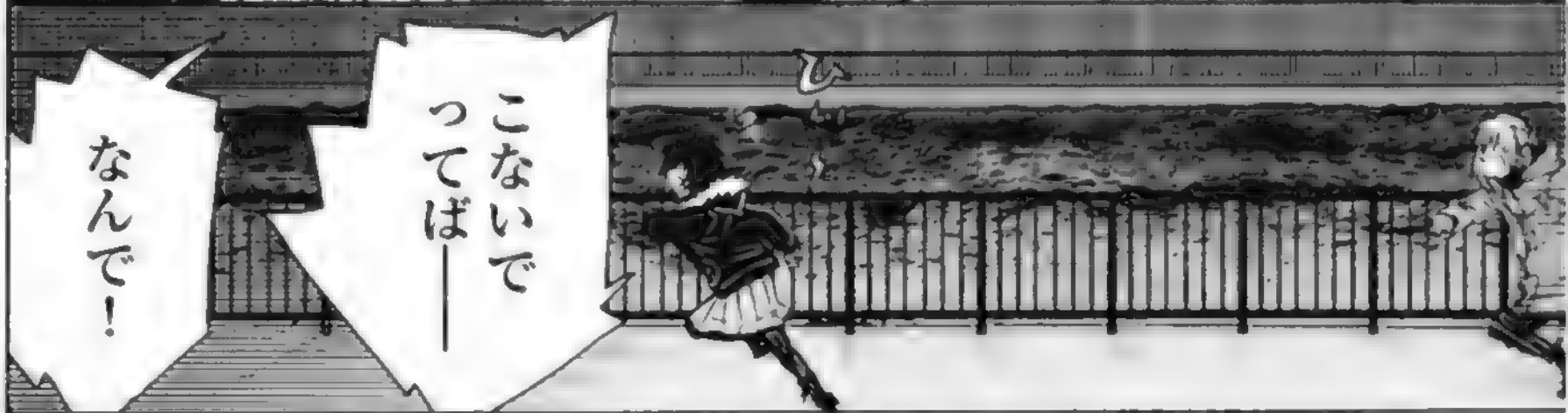
お父さんも
真彩も

嫌われても
仕方なかった
んだ……
っ

う
わ――――!!

?
?

!?

嫌われ…？
うわぁぁぁぁ
おい！
待てって！会話しろ!!
ダダダ
ひっ
こないでってばー
なんで！
真彩のせいで…
みんな壊れた!!
不幸になっちゃった…

……!?
真彩が悪い
これじゃ嫌われても文句いえない！
五十嵐にも一条くんにも

すきになって
なんて
いえないよ!!
……
き
嫌われてもって何だよ…
嫌いになんかなってねーよ!!

失敗するんだよ

これからもきっと

だから

ハア
ハッ
ハア

足速ぇーよ…
お前…

ん
……
嫌いになるって？
親に前科があるから？

だったら
楽だったよ
くだら
ねえ

……い

五十嵐って
真彩のこと
すきだったの…？
わかんなかったの？

う

うそだぁぁ!!!

嘘じゃねえよ!!

つうかほんとにわかんなかったの!?

だって…

だっ

五十嵐女子ならみんな好きで

…俺がこの1年どの女子と遊んでた?

真彩とじか…!!
そ…　んなの
真彩
今ベコベコなのに…
みんな不幸にしちゃったのに
そんなの無理だよ…!
……?
さっきから不幸って何の話……?

は!?
別れた!!?

片桐くんと?逢澤さんが!?
……

いやまあ…
聞いた感じ
親父のせいで逢澤さんがケガしたんだろうけど
だからって別れろって——

…でも
そりゃ引くか
逢澤さんの親父みたいに
そっちがふつうとは思うよ
俺は「くだらねぇ」って思うけど
隠れて付き合えばいーじゃんな

…隠れて…？

いや

まあ無理だと思うよ
片桐くんじゃ

俺はやれるが

「俺は引いてもふつうって思う」

「引いてもふつう」…

…うん

フツーって思う…

俺
あの・・・時・

ただ
こーゆー話したかっただけだよ

でもイラついたから

一条に先に話すんだ
って

やっぱ一条好きなんだって

イラついたから

感じ悪くなった…と

思う

……

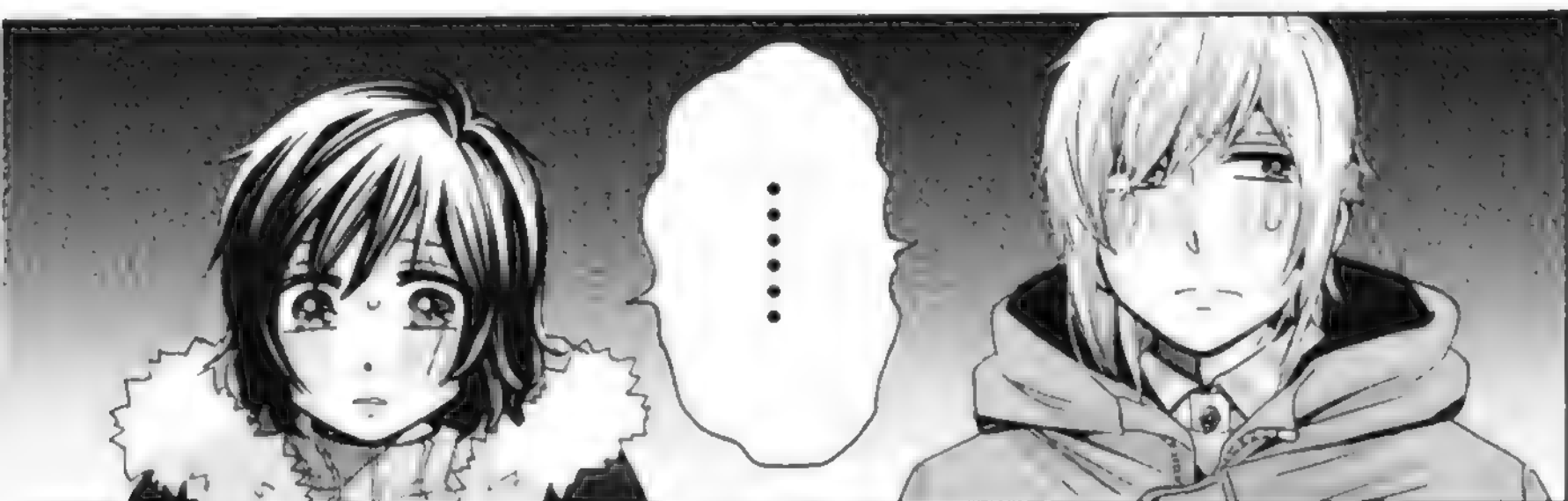
…あの

前も言ったけど
真彩
一条くんの事好きかわかんなくて…

好きなんだよ

俺の方が知ってんの！

ずっと見てたんだから

……
ザ ザ
っあ――
もお！
俺のせいかよ
結局…！

一条に
告って
来てよ
一条が
付き合う事に
なったら
そしたら
そん時は
あきらめるから
………！
む
無理だよ!!
そんなの
急だし
それに今
も——さあ…

もう退き返せねえよ

こうなっちゃったらもう

進むしか
進めるしか
なくなったん
だよ
告白／完

中卒労働者(ワーカー)から始める高校生活

今日も
夢じゃ
なかった

何度起きても
夢じゃないのね
47時限目
友達のような

…学校
行きたくないか？

ううん…
行く…
ザワ
ザワ
ザワ…
…あ！

まこっちゃん！
よう
おはよう
おはよう
真彩は？
なんか
寄るとこ
あるってさ
まこっ
ちゃん！
ひながかいた
おえかきみる!?
んん？
何描いた
ゴソ
ゴソ

解決してみせるよ

そしたら
ちゃんと話すから

落ち着いてる
みたい

解決したのかな?

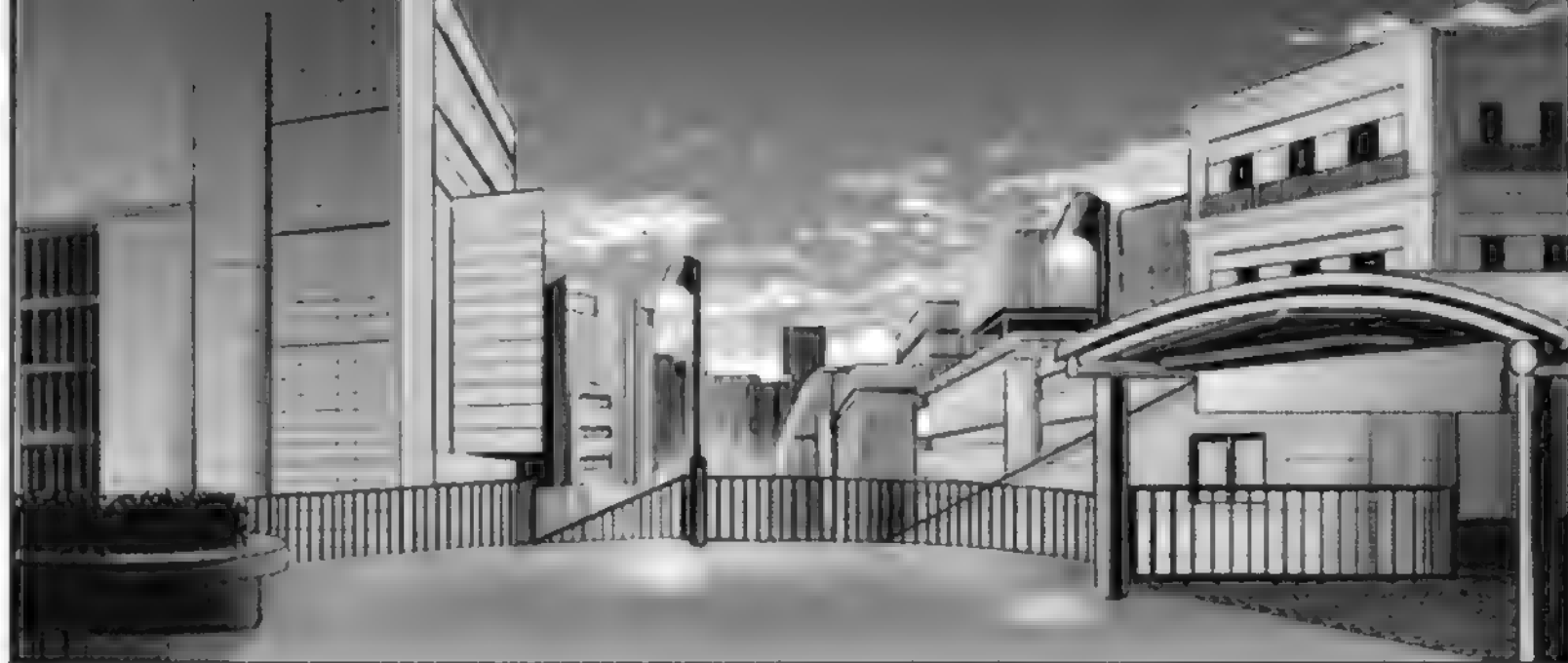
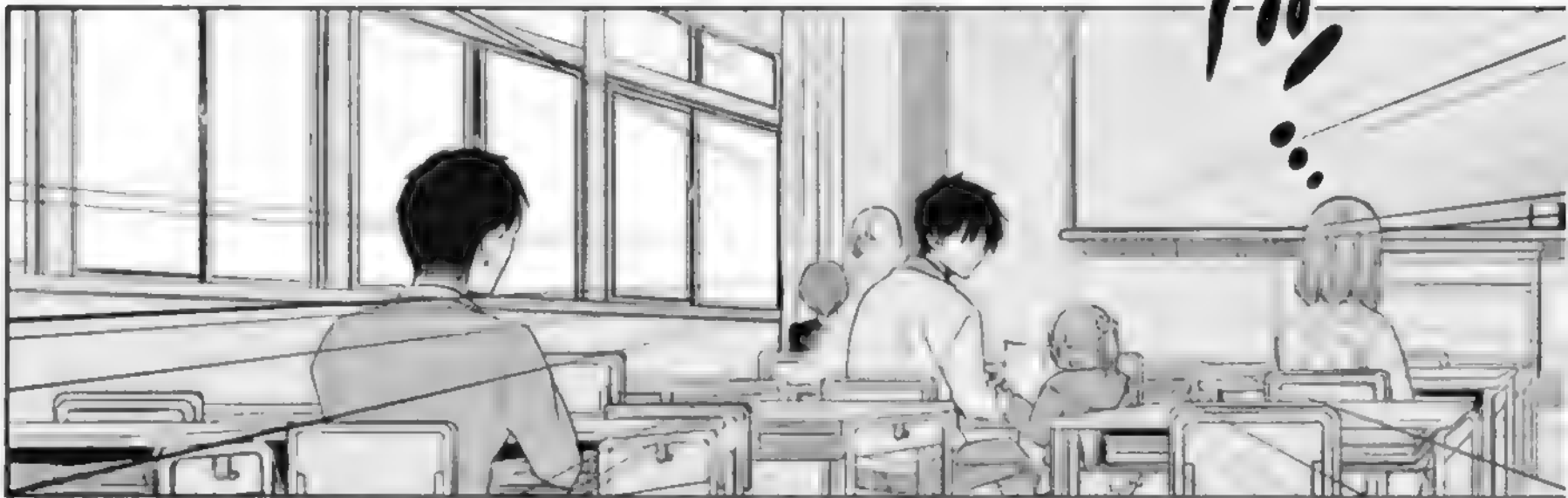
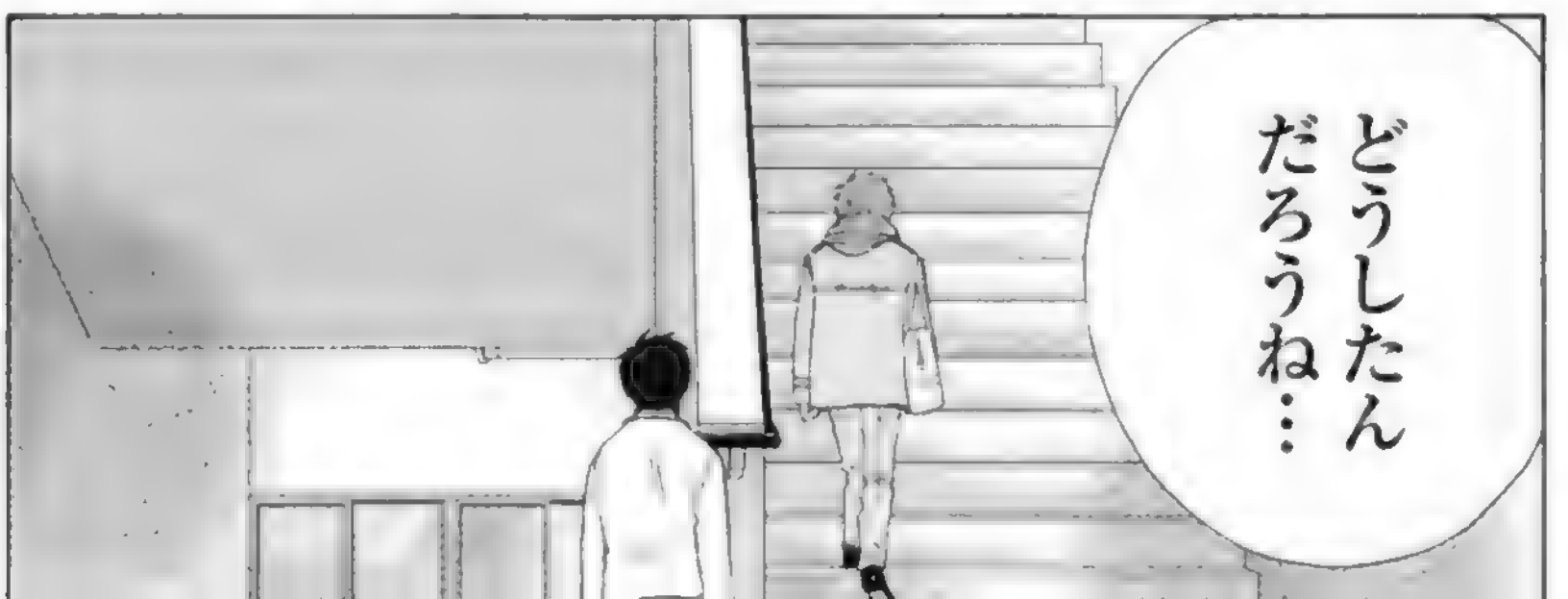
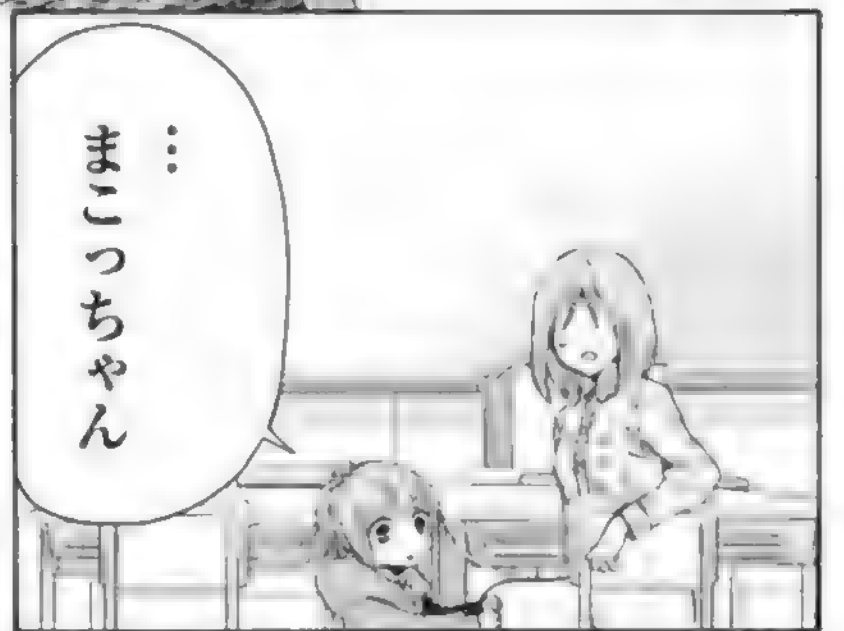
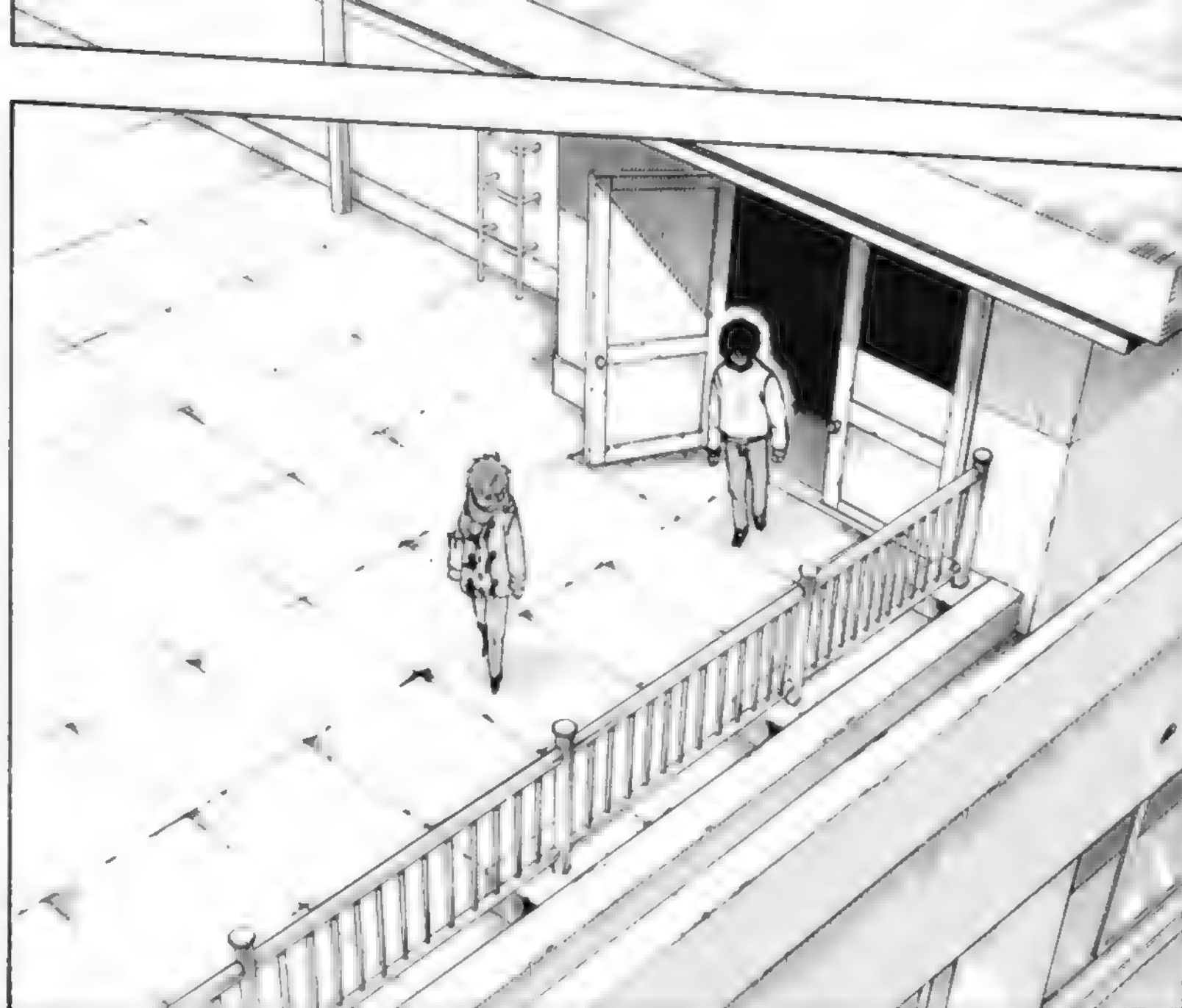
悩みごと…

それならよかったな…

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
…

片桐!!

ちょっと
……？
一条くん？
一体どうし…
ガタ…

…デケえよ　声
いいから　こっち
…まこっちゃん
と　いちじょーくん
けんか？
……
どうしたんだろうね…

……
何
莉央さん
寝込んでるよ

クリスマスから
ずっと
…怪我は?
傷は…
もう
だいぶ
…

そうか…
良かった
……
良くねえよ…！
部屋から全然出て来なくて
食事だって奥さんが無理矢理食べさせてるんだぞ！
全部お前のせいじゃないか
お前が泣かせてんだぞ!!

泣かずに済むよ

一緒にいるよりは

だから別れた

……
なんだよ
お前にとっては良い事だろ…
願ったり叶ったりだよ!!
ずっと別れれば良いと思ってたし!
待ってたよざまあみろ!!
でも…

気に入らない…
うっ
っ…

う
うっう…

お父さん
なんであんなこと言うの…

彼のことも私の気持ちも
何も知らないのに
……

なんで
隠れて
勝手なこと
言うの!!
彼じゃなくて
いいんだよ

まるで

『教えてやらなきゃ』って

言ってる
みたいな

私
あの人が
よかったの…

あんなこと言わせてるくせに——

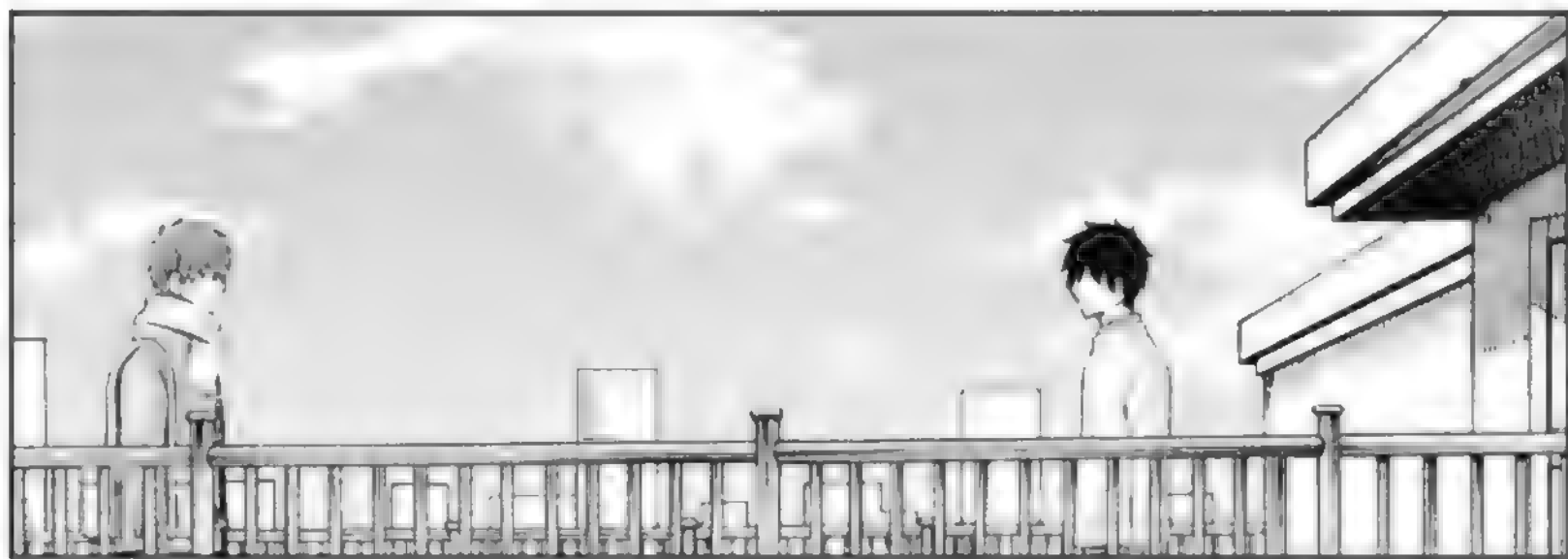
別れた理由が気に入らない

「父親が犯罪者だから」って
なんだよ!?

だからなんだよ!
お前に関係ないだろう!!
親が悪かったら子供も悪いって事になるのかよ…
認めないぞそんなの

なんで「俺には関係ない」って言えないんだ!?
お前が自由にやらなきゃ…俺もできないって事になるじゃないか!!
ハァ
ハァ…

・・・・・

卑屈に
なるなよ・・

お前…
思ってたより
いい奴なのか
…？
…知らねえよ!!
どうでも
いいだろ
そんなの！

…卑屈になった訳じゃねえんだ
元気づけて
やってほしい
俺が言うのも変なんだけど…
……

めちゃくちゃ変だよ

バカ…

一条と片桐くんじゃね？
えっ

えっ!? あ ほんとだ!?
なんで……

……
モメてないかな…
モメてんじゃない？
全部 聞いとるでしょ

……

そんで・・・
なんだっけ
話・・・
・・・・・・あ
その・・・・・・
ど
どうしても
だめ？
一条くんに・・・
話さないと
・・・
・・・そりゃ

どーしても言いたくないならしょうがねえけど…
元通りは無理だよ
もう今の空気が
前と違うじゃん？
まー俺のせいですけど…
……
わかった…
考えるね…

カン
カン
カン
カン
カン
カン…
ごめんな

キスして
ごめん

それは…
べつにだいじょーぶ…
カン…
カン
カン
カン…

はー……
大丈夫っていうのは…
どうなの…
トゥルルル…
トゥルルル…

あ
善ちゃん？
おはよーー…

今どこ
もう学校着いた？
あ
今日2時限から来るつもりだったんだ…
ふーん…
ーー？
……
んん〜〜〜…
あの

今日一緒に
サボってくれませんか…

友達のような／完

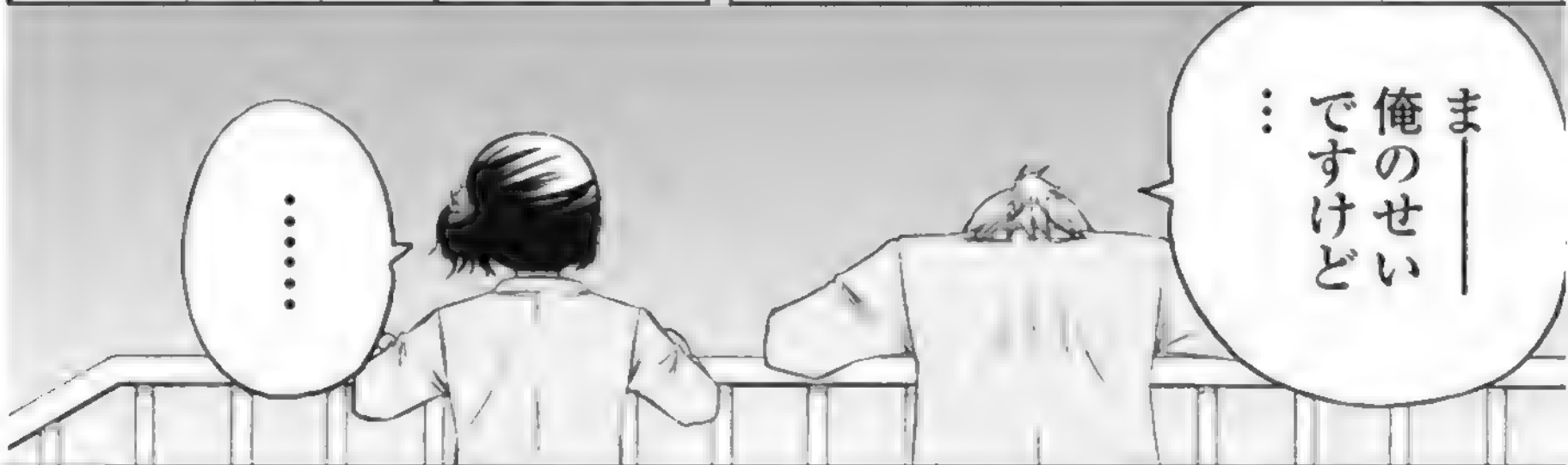
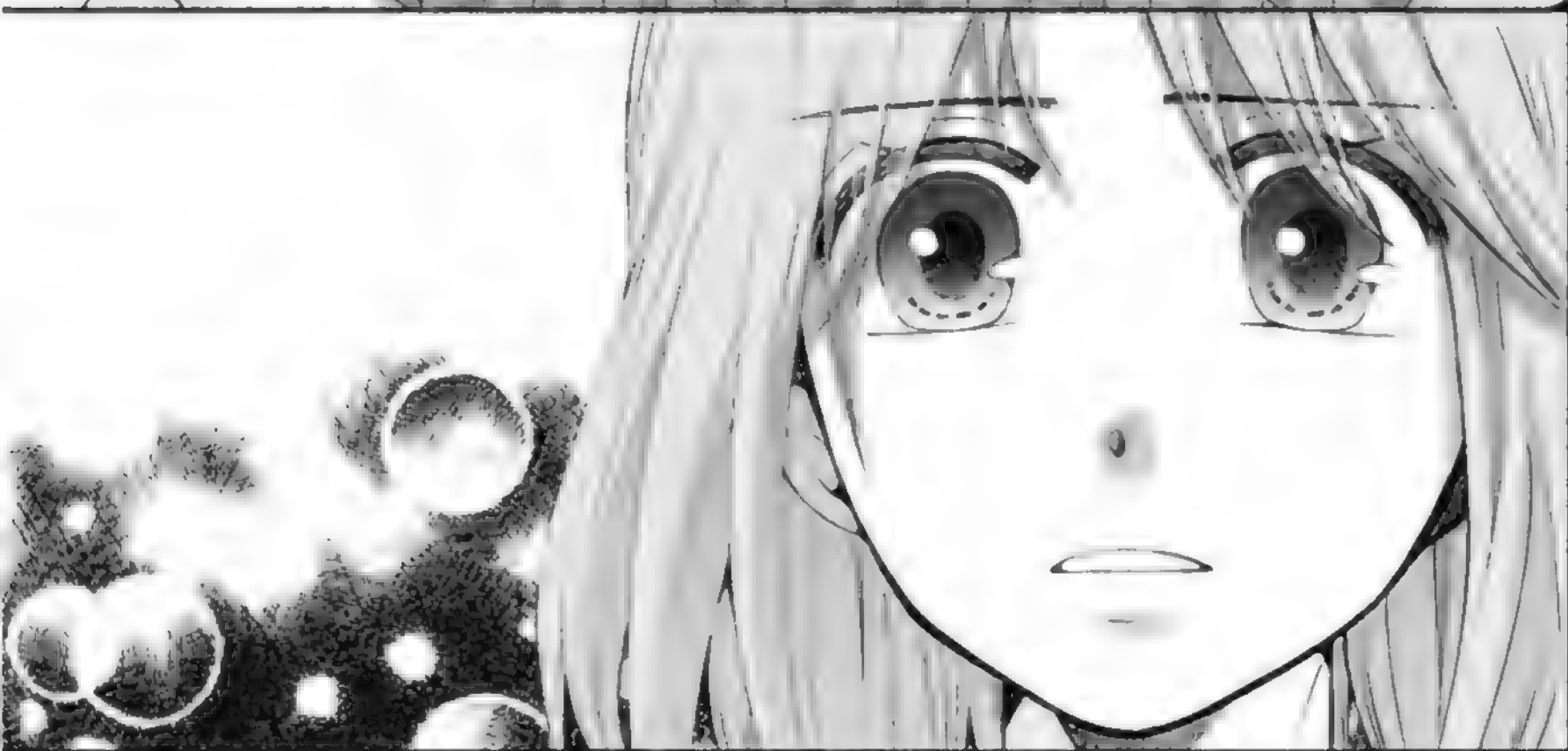
中卒労働者（ワーカー）から始める高校生活

48時限目 他人

……あ!
ちょ!ちょっ
見つけたっ
一条くん!!
ねえ さっきの なに? どしたの 急に
……
最近 まこっちゃん とも空気悪く なかったのに
なんで……

……莉央さんと
片桐
別れたって

聞いたから…
……
え…?

な
なんで…
なにか
変ではあったけど
でも
別れ…？
莉央さんの父親が別れさせた

片桐と…
真彩の父親に
犯罪歴があるからって

「おにーちゃんが
おとーさんのこと
めちゃくちゃ
嫌ってるから
…」

「誰にも
言ってねえの

ろくでもねえ
話なんだ」

「俺はさ」

「お前みたいに
綺麗な奴じゃ
ないんだ」

「幻滅して
終わりだよ」

ああ
…

全部
このこと？
なにを呑気な
「ちょっとショックかもなんでも話してくれるって思ってた」
「落ち着いたのかな悩み事良かったなあ」

今まで
私

あの
2人に

「お父さん
いたの!?」
「私もお母さんと
仲悪いから
解ることあるかも」

「周りに
心配させないで!」
「信じてよ」

なにを──
片桐　中庭の方　行ったよ
話して　来たら

……

でも…

言える事なんて

何も…

それに

ひな 教室におきっ放しに出来ないし…

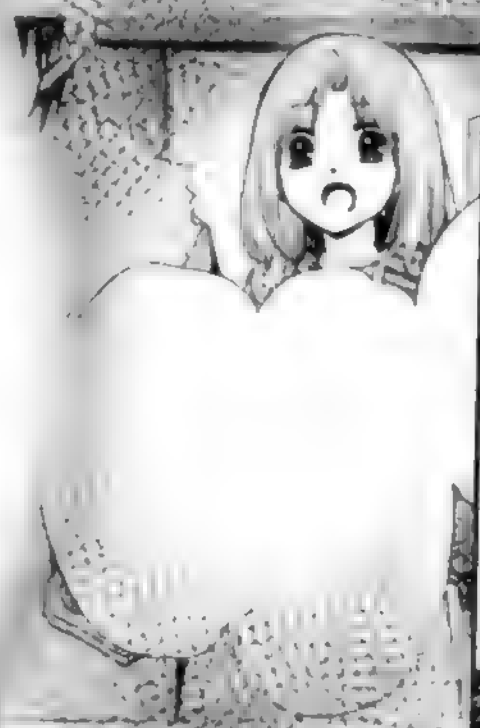
ひなぎく俺見てるよ

…あんまり好かれてないけど…

え

今逃げても

いつか話さないといけないやつだと思う

そうだけど
そう
なんだけど

どうして
力になれなかった？
「しがみつきたく
なるから
やめてくれ」
あんなの
気にせず
もっと
助けられたら
「もう
踏み込め
ない」
…ちがう
きっと

私に
助けられる
ことなんか
ひとつも
なかった

……
自分で話そうと思ってたんだけどな

もう聞いた？
逢澤と別れた

うちの父親　刑務所入ってた時期あって
ずっと負い目だったんだけど

ショックだよ

何も知らなかった自分が
知らないのに知った顔してた自分が

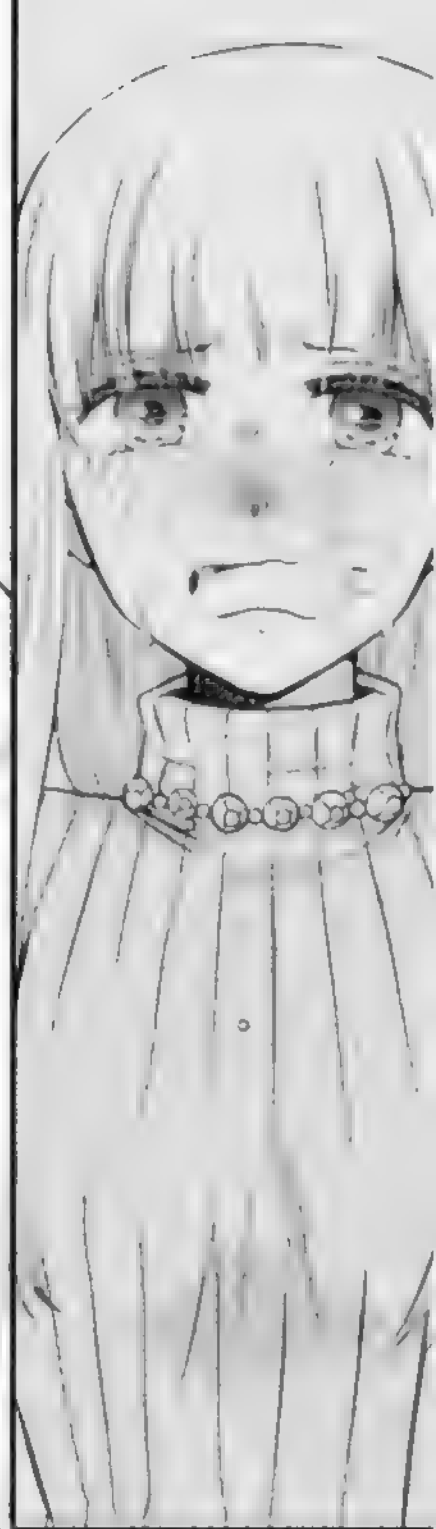
一番辛いこと知らないのに
もう味方のつもりだった…
…若葉悪くねえじゃん…
俺が隠して来たんだから
逢澤とだって
いずれこうなるってわかってて隠してたんだから

……
なんで笑うの…！
私が顔に出すなって言ったから!?
周りに心配させるなって言ったから…!?
知らなかったんだよ
私…

知らずに
無神経なこと
言っちゃった…
まこっちゃんの
苦しさも
真彩の
苦しさも
逢澤さんの
苦しさも…
何も知らない
奴が勝手に
違うよ
俺がふつうに
してないと
あいつらが
ふつうに
戻れないよなって
思ったから

若葉が
言った事は
関係ないよ
…真彩も
辛いよね
…
まぁ……
でも
俺より
強いよ
全然

泣いてた…？

…散々
…待ってるよ
逢澤さん
…!

私
何も知らなかったけどさ
でも
これだけは絶対！
まこっちゃんのこと待ってるよ！
ねえ…！
周りに何言われてても
言いなりにならないで！
もういいんだ
取り返して!!
逢澤さんのこと――
嘘!!

あの子じゃないとだめなくせに!!

…笑うなってば！

…泣くなよ

大好きだよ
まこっちゃん…

嫌だよ…！

片桐くんと真彩ちゃんのお父さんに？

なんかそ――なんだって

善ちゃんどう思う？

だぁよね――？関係ねえじゃん親父がやったことはさぁ

ガバッ

ただ

遭わなくていい目には遭って来ただろうね

本人たちがそう思えるかは経験次第だ

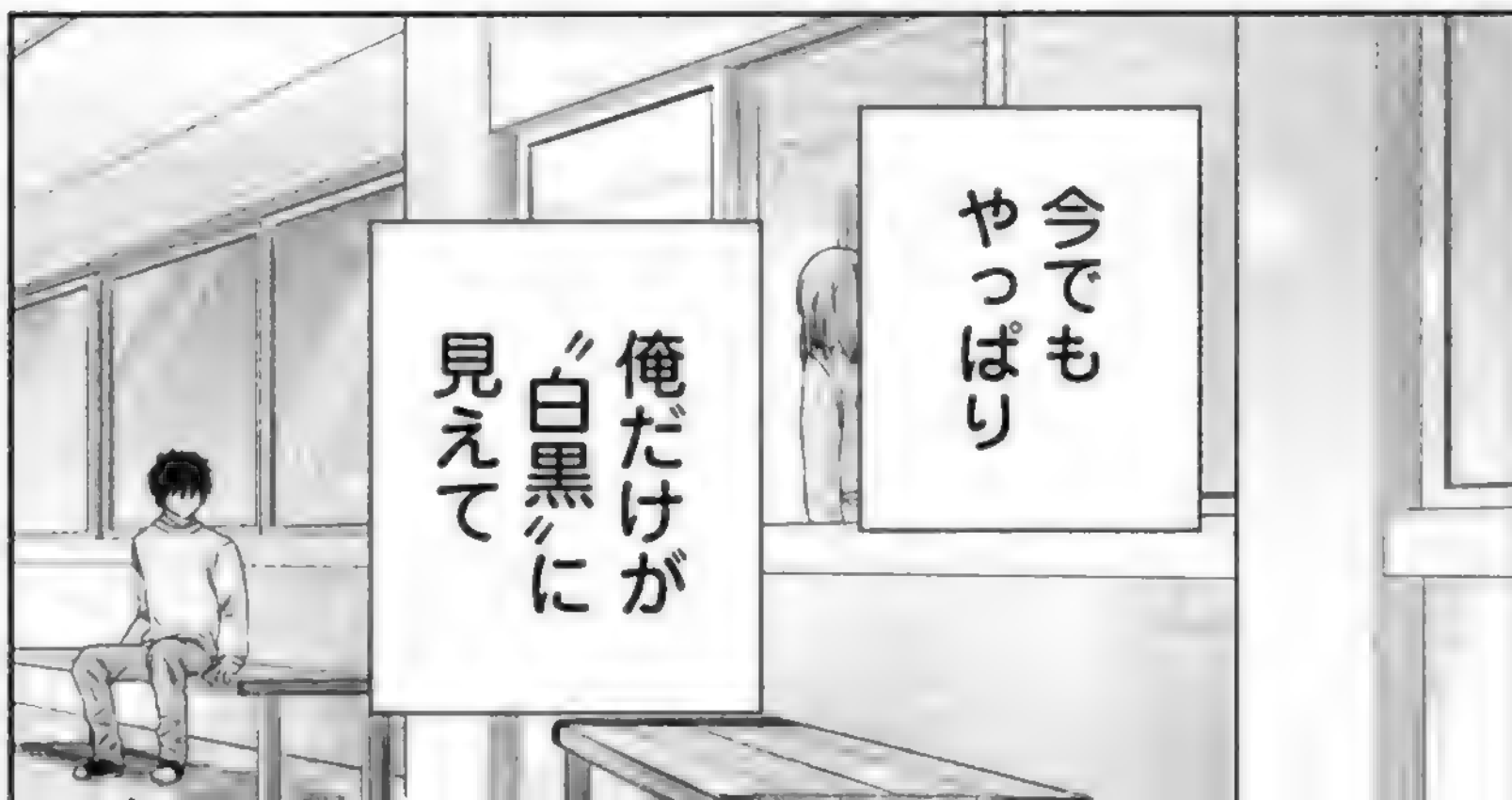
逢澤さんをケガさせた後…お父さんはどうしているんだろう？

さぁ…

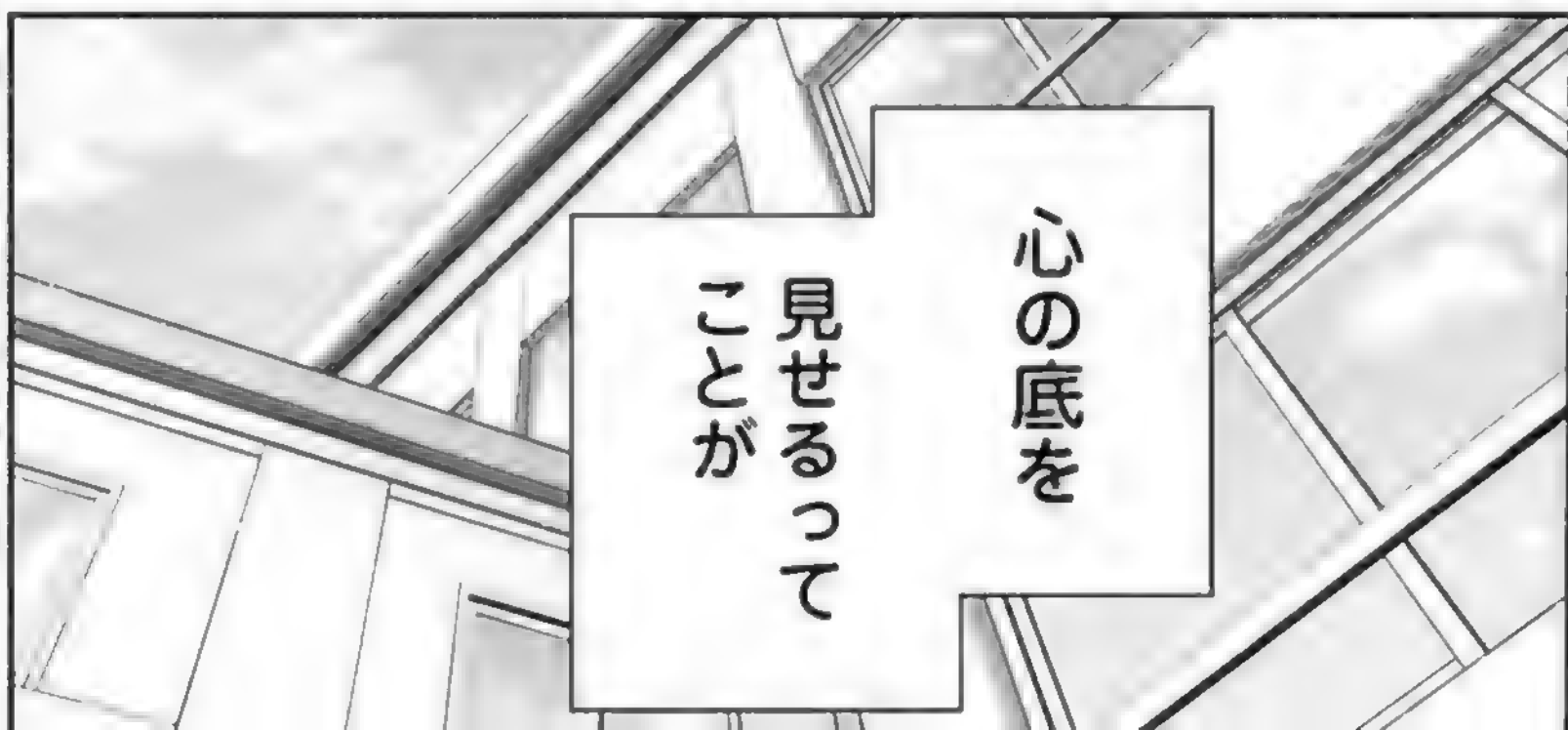
真彩ちゃんはあれから会ってないし

もう会えないって言ってたけど

片桐くんがどう思ってんのかは

知らね

一生かけても色が戻る気はしねえんだけど
ごめんな
解ってくれるのにな
みんな

他人が色を戻そうとする
なぜか必死に
他人だろ
他人
なのにな

解って
くれるって
俺だけ
解んなかった

苦しかったね……
難しかった
心の底を見せるってことが
※中卒労働者から始める高校生活⑭／完

中卒労働者(ワーカー)から始める高校生活

ブラコンの
作り方14

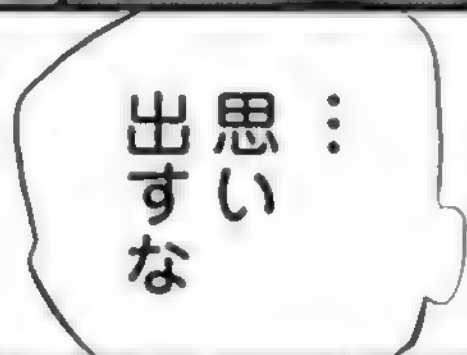
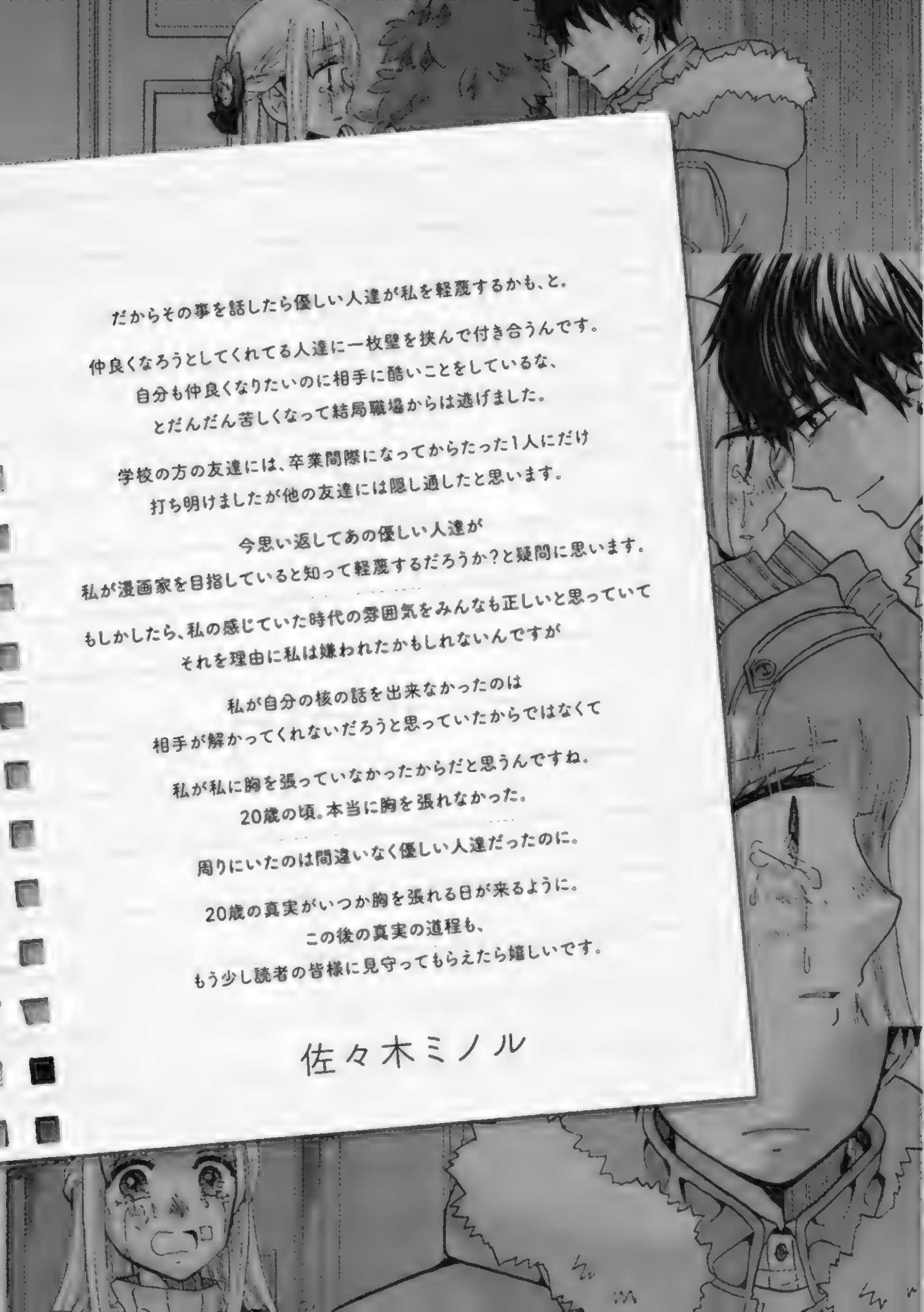
46話
その後
フラ…
ガララ

ただいま
……
おかえり

遅かったな
残業？

それに
「家だと
泣けないから
外で
泣いてきた」
なんて
…言えない
一条に
告ってきてよ
う゛…

どうした?
言ってみろ
なんかあった?
……
……
やっぱりなんでもないーーー!!
だだーー
真彩!

……
……不安定な
…やっぱり
俺がしっかり
してなかった
から
ブンッ
ブンッ
…思い
出すな
今までは
なんでも
おにーちゃんに
話せたのにな
…

だからその事を話したら優しい人達が私を軽蔑するかも、と。

仲良くなろうとしてくれてる人達に一枚壁を挟んで付き合うんです。
自分も仲良くなりたいのに相手に酷いことをしているな、
とだんだん苦しくなって結局職場からは逃げました。

学校の方の友達には、卒業間際になってからたった1人にだけ
打ち明けましたが他の友達には隠し通したと思います。

今思い返してあの優しい人達が
私が漫画家を目指していると知って軽蔑するだろうか?と疑問に思います。

もしかしたら、私の感じていた時代の雰囲気をみんなも正しいと思っていて
それを理由に私は嫌われたかもしれないんですが

私が自分の核の話を出来なかったのは
相手が解かってくれないだろうと思っていたからではなくて

私が私に胸を張っていなかったからだと思うんですね。
20歳の頃。本当に胸を張れなかった。

周りにいたのは間違いなく優しい人達だったのに。

20歳の真実がいつか胸を張れる日が来るように。
この後の真実の道程も、
もう少し読者の皆様に見守ってもらえたら嬉しいです。

佐々木ミノル

あとがき

「中卒労働者から始める高校生活」14巻、
読んで下さってありがとうございます！

終わりであり始まりでもあるお話になりました。
楽しんでもらえていたら良いのですが。

真実は14巻現在で20歳です。
私の20歳の頃を思い出すと通信制の高校に通い、
平日昼間は仕事をし夜は通信制高校のレポートか漫画を描いていました。

当時の私は職場でも学校でも人に恵まれていて
近くに居る人は大体私に優しくしてくれて
仲良くなろうと歩み寄ってくれました。

私も近くに居てくれる人みんなが好きでした。
可愛くて、面白くて、素敵な恋愛をしてて、キラキラしていて、
キラキラしてない私にも優しくしてくれるその人達ともっと仲良くなりたいと
思っていたんです。
いたんですが…

20歳の頃は担当編集がついていて本気で漫画家になりたいと
思っていましたから漫画を描く事は私の核だったんですね。

でも周りの優しい人達にその「核」を隠したかったんです。

その当時、「漫画を描く」という事は
現代よりも数倍ネガティブなイメージを持たれる事だと私は感じていました。
（多少のそういった経験により）

次巻
……寒いな
なんか飲み物買って来るから
あったかいの
挫ける心と、
引き裂かれてしまった
真実と莉央。
待ってて

中卒労働者から始める高校生活 14

佐々木ミノル

日本文芸社